



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月16日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル  
 コード番号 2773 URL <https://www.mutual.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 吉野 尊文  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6315-8613

2019年6月27日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	11,066	32.5	1,005	172.0	1,034	118.9	589	162.6
2018年3月期	8,350	△31.7	369	△69.9	472	△62.6	224	△71.9

(注) 包括利益 2019年3月期 491百万円 (22.3%) 2018年3月期 402百万円 (△40.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	91.31	—	6.7	7.3	9.1
2018年3月期	34.77	—	2.6	3.5	4.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,004	9,170	59.0	1,372.45
2018年3月期	13,331	8,846	64.5	1,333.77

(参考) 自己資本 2019年3月期 8,854百万円 2018年3月期 8,605百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	868	125	△239	4,471
2018年3月期	598	118	△304	3,723

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	161	71.9	1.9
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	193	32.9	2.2
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		25.0	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,828	8.9	333	17.8	349	8.7	181	18.0	28.19
通期	11,420	3.2	1,146	14.0	1,168	12.9	645	9.5	100.02

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	7,620,320 株	2018年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	1,168,413 株	2018年3月期	1,168,393 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	6,451,915 株	2018年3月期	6,451,964 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	9,656	37.8	803	595.2	757	324.5	478	338.4
2018年3月期	7,008	△35.0	115	△88.7	178	△83.0	109	△84.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	74.20	—
2018年3月期	16.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	13,428	8,100	60.3	1,255.46
2018年3月期	11,412	7,961	69.8	1,233.99

(参考) 自己資本 2019年3月期 8,100百万円 2018年3月期 7,961百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,346	17.6	189	46.0	117	67.0	18.16
通期	10,300	6.7	822	8.6	518	8.2	80.31

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P.4「今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17
(3) 株主資本等変動計算書 .....	18
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	20
(継続企業の前提に関する注記) .....	20
(表示方法の変更) .....	20
(1株当たり情報) .....	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善、設備投資の増加など、緩やかな回復基調で推移して参りました。一方、海外経済におきましては米中の貿易摩擦に加え、中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは医薬品業界の動向に注視し中国・東南アジア市場拡大に向け、海外展示会の充実を図るとともに、専任担当者を増強し営業力・競争力の強化に努めて参りました。また、製造部門におきましては調達先の見直しや生産の効率化・管理を徹底し、オリジナル機のコストダウンに注力して参りました。

売上高につきましては化粧品メーカーの積極的な設備投資もあり、概ね計画通りに推移し前年同期比2,715百万円増収となりました。損益面におきましても、増収に加え売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比0.4ポイント改善し、売上総利益が728百万円増加した結果、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

これらの結果、当連結会計年度末の売上高は11,066百万円（前連結会計年度比32.5%増）、売上総利益は2,831百万円（同34.6%増）、営業利益は1,005百万円（同172.0%増）、経常利益は1,034百万円（同118.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は589百万円（同162.6%増）と増収増益となりました。

各事業別の概況は以下のとおりであります。

<産業用機械事業>

当社グループの主力事業である産業用機械事業は、売上高全体では10,512百万円（前連結会計年度比35.2%増）でありました。この内、医薬品業界が5,881百万円（同23.3%増）、化粧品業界が3,348百万円（同83.7%増）、その他業界が800百万円（同149.9%増）と好調に推移いたしました。食品業界は481百万円（同44.1%減）の売上となりました。

<工業用ダイヤモンド事業>

工業用ダイヤモンド事業は、事業売上高として553百万円（前連結会計年度比10.0%増）となりました。主な販売先は自動車業界、半導体業界であります。

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額 (千円)	前連結会計年度比 (%)
産業用機械事業	10,512,955	135.2
（医薬品）	(5,881,368)	(123.3)
（化粧品）	(3,348,976)	(183.7)
（食品）	(481,984)	(55.9)
（その他）	(800,626)	(249.9)
工業用ダイヤモンド事業	553,715	110.0
合計	11,066,670	132.5

※「2019年3月期 決算短信」よりセグメントの内訳の表示方法を製商品分類から業界別に変更しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(a) 流動資産

当連結会計年度末の流動資産の残高は、11,816百万円となり、2,062百万円（前連結会計年度比21.1%）増加しました。これは主として電子記録債権が141百万円（同27.6%）減少しましたが、受取手形及び売掛金が1,290百万円（同48.3%）、現金及び預金が747百万円（同19.6%）、前渡金が208百万円（同37.0%）増加したことによるものであります。

(b) 固定資産

当連結会計年度末の固定資産の残高は、3,188百万円となり、389百万円（前連結会計年度末比10.9%）減少しました。これは主として投資有価証券が220百万円（同13.6%）、土地が95百万円（同14.3%）、機械装置及び運搬具（純額）が39百万円（同26.7%）、建物及び構築物（純額）が32百万円（同6.0%）減少したことによるものであります。

(c) 流動負債

当連結会計年度末の流動負債の残高は、5,659百万円となり、1,444百万円（前連結会計年度末比34.3%）増加しました。これは主として短期借入金が68百万円（同100.0%）、電子記録債務が59百万円（同7.3%）減少しましたが、支払手形及び買掛金が941百万円（同54.5%）、未払法人税等が259百万円（同267.7%）、前受金が255百万円（同22.5%）増加したことによるものであります。

(d) 固定負債

当連結会計年度末の固定負債の残高は、175百万円となり、94百万円（前連結会計年度末比35.0%）減少しました。これは主として繰延税金負債が88百万円（同63.5%）減少したことによるものです。

(e) 純資産

当連結会計年度末の純資産の残高は、9,170百万円となり、323百万円（前連結会計年度比3.7%）増加となりました。これはその他有価証券評価差額金が176百万円（同27.4%）減少しましたが、利益剰余金が427百万円（同5.8%）、非支配株主持分が73百万円（同30.6%）増加したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により獲得した資金868百万円、投資活動により獲得した資金125百万円、財務活動により使用した資金239百万円の結果、前連結会計年度比747百万円増加し、4,471百万円（前連結会計年度比20.1%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は868百万円（前連結会計年度比45.0%増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益が1,064百万円であった他、売上債権の増加1,149百万円、前渡金の増加208百万円等により減少したものの、仕入債務の増加883百万円、前受金の増加255百万円等により増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は125百万円（前連結会計年度比5.8%増）となりました。これは、有形固定資産の売却による収入125百万円等により増加したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は239百万円（前連結会計年度比21.3%減）となりました。これは、配当金の支払額160百万円、短期借入金の純減額68百万円等により減少したものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率（%）	54.0	56.1	62.9	64.5	59.0
時価ベースの自己資本比率（%）	26.1	41.2	42.1	41.4	38.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	22.2	33.3	132.5	11.9	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	503.6	319.2	36.2	265.3	1,075.0

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注5）2019年3月期末のキャッシュ・フロー対有利子負債比率については、有利子負債がないため記載しておりません。

#### （4）今後の見通し

当社グループの次期業績につきましては、下記のとおり予想しております。

売上高につきましては、当社の主要顧客である医薬品業界では薬価制度の見直しや薬価引き下げの影響から設備投資計画の大幅な見直しも懸念されますが、化粧品業界ではもう暫く積極投資が続くと見られること、また、翌期への繰越受注残高が7,449百万円（前連結会計年度比5.5%増）であることから、通期では11,420百万円（同3.2%増）の見込みであります。

利益面につきましても、受注競争激化による収益面への影響も想定されますが、引き続き業務の効率化や経費の圧縮に努めてまいり所存であり、通期の営業利益は1,146百万円（同14.0%増）、経常利益は1,168百万円（同12.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は645百万円（同9.5%増）と予想しており、増収増益の見込みであります。

#### ①2020年3月期 連結業績見通し

売上高	11,420 百万円	前連結会計年度比3.2%増
営業利益	1,146 百万円	同 14.0%増
経常利益	1,168 百万円	同 12.9%増
親会社株主に帰属する当期純利益	645 百万円	同 9.5%増
1株当たり当期純利益	100円02銭	同 8円71銭

#### ②2020年3月期 個別業績見通し

売上高	10,300 百万円	前事業年度比 6.7%増
経常利益	822 百万円	同 8.6%増
当期純利益	518 百万円	同 8.2%増
1株当たり当期純利益	80円31銭	同 6円11銭

（注）上表①、②の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、様々な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、当社の株主構成比率の推移及び国内他社の動向を踏まえて検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,807,692	4,555,443
受取手形及び売掛金	2,672,041	3,963,000
電子記録債権	513,728	372,150
有価証券	52,290	25,134
商品及び製品	58,035	56,941
仕掛品	1,677,628	1,672,925
原材料	74,950	71,940
前渡金	562,042	770,200
その他	338,368	330,970
貸倒引当金	△3,033	△2,407
流動資産合計	9,753,743	11,816,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	544,706	512,072
機械装置及び運搬具 (純額)	149,595	109,691
土地	666,563	571,012
その他 (純額)	11,505	12,147
有形固定資産合計	1,372,371	1,204,924
無形固定資産		
その他	29,041	27,747
無形固定資産合計	29,041	27,747
投資その他の資産		
投資有価証券	1,619,070	1,398,209
破産更生債権等	1,175	1,175
繰延税金資産	24,592	50,274
退職給付に係る資産	20,877	23,919
長期預金	1,500	1,500
その他	509,267	480,923
貸倒引当金	△259	△176
投資その他の資産合計	2,176,223	1,955,825
固定資産合計	3,577,636	3,188,497
資産合計	13,331,380	15,004,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729,487	2,671,427
電子記録債務	814,580	755,403
短期借入金	68,310	—
1年内返済予定の長期借入金	3,075	—
未払法人税等	96,932	356,411
前受金	1,133,343	1,388,697
賞与引当金	100,206	93,225
役員賞与引当金	5,000	7,000
その他	263,759	386,956
流動負債合計	4,214,695	5,659,121
固定負債		
繰延税金負債	140,099	51,103
退職給付に係る負債	24,957	16,877
役員退職慰労引当金	72,740	76,940
その他	31,999	30,429
固定負債合計	269,797	175,350
負債合計	4,484,492	5,834,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	7,339,396	7,767,205
自己株式	△769,536	△769,556
株主資本合計	7,965,262	8,393,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645,394	468,537
繰延ヘッジ損益	△4,453	△10,712
為替換算調整勘定	△818	4,064
その他の包括利益累計額合計	640,121	461,889
非支配株主持分	241,503	315,384
純資産合計	8,846,887	9,170,325
負債純資産合計	13,331,380	15,004,798



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,350,984	11,066,670
売上原価	6,247,969	8,235,272
売上総利益	2,103,014	2,831,398
販売費及び一般管理費	1,733,458	1,826,163
営業利益	369,556	1,005,234
営業外収益		
受取利息	8,626	6,683
受取配当金	24,638	26,321
為替差益	5,522	—
受取地代家賃	6,000	2,000
投資有価証券売却益	59,551	191
助成金収入	—	9,459
その他	5,784	11,057
営業外収益合計	110,123	55,713
営業外費用		
支払利息	2,257	807
為替差損	—	21,153
投資有価証券評価損	955	—
その他	3,916	4,523
営業外費用合計	7,129	26,484
経常利益	472,550	1,034,463
特別利益		
固定資産売却益	7,708	26,580
受取保険金	—	18,788
特別利益合計	7,708	45,369
特別損失		
災害による損失	—	14,940
特別損失合計	—	14,940
税金等調整前当期純利益	480,259	1,064,892
法人税、住民税及び事業税	182,179	433,549
法人税等調整額	△3,804	△38,847
法人税等合計	178,375	394,702
当期純利益	301,884	670,190
非支配株主に帰属する当期純利益	77,581	81,083
親会社株主に帰属する当期純利益	224,303	589,107

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	301,884	670,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,177	△176,856
繰延ヘッジ損益	△4,267	△6,258
為替換算調整勘定	△1,529	4,883
その他の包括利益合計	100,380	△178,231
包括利益	402,264	491,958
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	329,029	410,875
非支配株主に係る包括利益	73,234	81,083

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	669,700	695,975	7,276,392	△769,493	7,872,574
当期変動額					
剰余金の配当			△161,299		△161,299
親会社株主に帰属する当期純利益			224,303		224,303
自己株式の取得				△42	△42
連結子会社株式の取得による持分の増減		29,727			29,727
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	29,727	63,003	△42	92,688
当期末残高	669,700	725,702	7,339,396	△769,536	7,965,262

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	534,870	△186	710	535,395	286,498	8,694,467
当期変動額						
剰余金の配当						△161,299
親会社株主に帰属する当期純利益						224,303
自己株式の取得						△42
連結子会社株式の取得による持分の増減						29,727
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	110,523	△4,267	△1,529	104,726	△44,994	59,731
当期変動額合計	110,523	△4,267	△1,529	104,726	△44,994	152,420
当期末残高	645,394	△4,453	△818	640,121	241,503	8,846,887

当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	669,700	725,702	7,339,396	△769,536	7,965,262
当期変動額					
剰余金の配当			△161,298		△161,298
親会社株主に帰属する当期純利益			589,107		589,107
自己株式の取得				△20	△20
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	427,808	△20	427,788
当期末残高	669,700	725,702	7,767,205	△769,556	8,393,051

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	645,394	△4,453	△818	640,121	241,503	8,846,887
当期変動額						
剰余金の配当						△161,298
親会社株主に帰属する当期純利益						589,107
自己株式の取得						△20
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△176,856	△6,258	4,883	△178,231	73,880	△104,351
当期変動額合計	△176,856	△6,258	4,883	△178,231	73,880	323,437
当期末残高	468,537	△10,712	4,064	461,889	315,384	9,170,325

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	480,259	1,064,892
減価償却費	98,577	90,862
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,097	△709
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,749	△6,981
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,349	△8,069
受取利息及び受取配当金	△33,264	△33,005
支払利息	2,257	807
投資有価証券売却損益 (△は益)	△59,551	△191
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,708	△26,580
売上債権の増減額 (△は増加)	1,490,648	△1,149,436
前受金の増減額 (△は減少)	602,488	255,433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△400,116	8,301
仕入債務の増減額 (△は減少)	△697,308	883,227
前渡金の増減額 (△は増加)	△402,407	△208,178
その他	△374,143	153,120
小計	682,233	1,023,492
利息及び配当金の受取額	30,891	30,018
利息の支払額	△2,257	△807
法人税等の支払額	△111,896	△184,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,970	868,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△89,900	△89,900
定期預金の払戻による収入	189,900	89,900
有価証券の取得による支出	△2,688	△50,669
有価証券の売却による収入	—	51,393
有形固定資産の取得による支出	△54,993	△13,555
有形固定資産の売却による収入	11,467	125,605
無形固定資産の取得による支出	△4,518	△6,276
投資有価証券の取得による支出	△11,259	△71,251
貸付けによる支出	△10,996	—
その他	91,782	90,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	118,792	125,721
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△55,872	△68,310
長期借入金の返済による支出	△3,324	△3,075
配当金の支払額	△159,946	△160,011
非支配株主への配当金の支払額	△6,672	△7,202
自己株式の取得による支出	△42	△20
子会社株式の取得による支出	△77,763	—
その他	△1,236	△1,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304,857	△239,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	772	△6,623
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	413,678	747,751
現金及び現金同等物の期首残高	3,310,113	3,723,792
現金及び現金同等物の期末残高	3,723,792	4,471,543

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

これにより、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が161,909千円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が19,876千円増加しております。また、「固定負債」の「その他」に含めて表示しておりました「繰延税金負債」が142,032千円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が142,032千円減少しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各営業部署において取り扱っている製商品・サービスについて、営業本部を設置して国内外の関連会社も含めた営業戦略を策定、統括しております。

したがって、当社は、営業部署を基礎とした製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「産業用機械事業」及び「工業用ダイヤモンド事業」の2つを報告セグメントとしております。

「産業用機械事業」は、医薬品業界、化粧品業界、食品業界等への包装関連設備を中心とした産業用機械等の改良・製造・販売を行っております。「工業用ダイヤモンド事業」は、自動車業界、半導体業界等へ工業用ダイヤモンドの販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,773,850	503,598	8,277,448	73,535	8,350,984	—	8,350,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,773,850	503,598	8,277,448	73,535	8,350,984	—	8,350,984
セグメント利益	791,060	45,729	836,789	9,725	846,515	△476,959	369,556

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△476,959千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,512,955	553,715	11,066,670	—	11,066,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,512,955	553,715	11,066,670	—	11,066,670
セグメント利益	1,469,072	76,244	1,545,316	△540,082	1,005,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△540,082千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）	当連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）
1株当たり純資産額	1,333.77円	1,372.45円
1株当たり当期純利益	34.77円	91.31円

- （注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）	当連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	224,303	589,107
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	224,303	589,107
期中平均株式数（千株）	6,451	6,451

（重要な後発事象）

該当事項はありません。



4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,287,415	4,014,861
受取手形	460,398	342,622
電子記録債権	503,474	362,325
売掛金	1,871,804	3,349,117
有価証券	—	14,899
商品	58,035	56,941
仕掛品	1,094,209	1,196,593
原材料	42,301	39,137
前渡金	562,464	844,595
その他	310,123	294,078
貸倒引当金	△283	△407
流動資産合計	8,189,944	10,514,766
固定資産		
有形固定資産		
建物	394,261	371,449
構築物	3,722	3,010
機械及び装置	135,295	95,300
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	7,512	7,166
土地	402,570	402,570
リース資産	403	—
有形固定資産合計	943,766	879,497
無形固定資産		
ソフトウェア	20,100	16,949
その他	2,295	2,295
無形固定資産合計	22,396	19,245
投資その他の資産		
投資有価証券	1,308,713	1,065,109
関係会社株式	463,386	463,386
破産更生債権等	1,175	1,175
長期預金	1,500	1,500
その他	528,685	611,588
貸倒引当金	△47,474	△128,080
投資その他の資産合計	2,255,985	2,014,678
固定資産合計	3,222,148	2,913,420
資産合計	11,412,093	13,428,186

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	423,554	698,740
電子記録債務	814,580	755,403
買掛金	890,841	1,936,442
未払法人税等	32,919	264,554
前受金	879,574	1,278,212
賞与引当金	80,000	77,000
その他	181,116	259,016
流動負債合計	3,302,587	5,269,369
固定負債		
繰延税金負債	122,491	33,412
その他	25,370	25,265
固定負債合計	147,861	58,677
負債合計	3,450,448	5,328,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金		
資本準備金	695,975	695,975
資本剰余金合計	695,975	695,975
利益剰余金		
利益準備金	39,500	39,500
その他利益剰余金		
別途積立金	5,020,000	5,020,000
繰越利益剰余金	1,710,195	2,027,635
利益剰余金合計	6,769,695	7,087,135
自己株式	△769,536	△769,556
株主資本合計	7,365,834	7,683,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	600,263	427,597
繰延ヘッジ損益	△4,453	△10,712
評価・換算差額等合計	595,809	416,884
純資産合計	7,961,644	8,100,139
負債純資産合計	11,412,093	13,428,186

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	7,008,528	9,656,559
売上原価	5,516,048	7,450,892
売上総利益	1,492,479	2,205,667
販売費及び一般管理費	1,376,927	1,402,372
営業利益	115,551	803,294
営業外収益		
受取利息	526	1,324
受取配当金	31,172	34,816
経営指導料	5,000	5,000
投資有価証券売却益	59,551	—
債務保証損失引当金戻入額	6,123	—
為替差益	5,478	—
その他	6,168	8,004
営業外収益合計	114,019	49,145
営業外費用		
支払利息	14	1
為替差損	—	11,585
貸倒引当金繰入額	47,297	80,606
その他	3,899	3,187
営業外費用合計	51,212	95,380
経常利益	178,359	757,060
特別利益		
固定資産売却益	7,708	—
受取保険金	—	16,936
特別利益合計	7,708	16,936
特別損失		
災害による損失	—	14,090
特別損失合計	—	14,090
税引前当期純利益	186,068	759,906
法人税、住民税及び事業税	82,368	291,500
法人税等調整額	△5,508	△10,331
法人税等合計	76,859	281,168
当期純利益	109,208	478,738

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	1,762,287	6,821,787	△769,493	7,417,968
当期変動額									
剰余金の配当						△161,299	△161,299		△161,299
当期純利益						109,208	109,208		109,208
自己株式の取得								△42	△42
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△52,091	△52,091	△42	△52,133
当期末残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	1,710,195	6,769,695	△769,536	7,365,834

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	506,029	△186	505,843	7,923,811
当期変動額				
剰余金の配当				△161,299
当期純利益				109,208
自己株式の取得				△42
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	94,233	△4,267	89,966	89,966
当期変動額合計	94,233	△4,267	89,966	37,832
当期末残高	600,263	△4,453	595,809	7,961,644

当事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	1,710,195	6,769,695	△769,536	7,365,834	
当期変動額										
剰余金の配当						△161,298	△161,298		△161,298	
当期純利益						478,738	478,738		478,738	
自己株式の取得								△20	△20	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	317,439	317,439	△20	317,419	
当期末残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	2,027,635	7,087,135	△769,556	7,683,254	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	600,263	△4,453	595,809	7,961,644
当期変動額				
剰余金の配当				△161,298
当期純利益				478,738
自己株式の取得				△20
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△172,666	△6,258	△178,924	△178,924
当期変動額合計	△172,666	△6,258	△178,924	138,495
当期末残高	427,597	△10,712	416,884	8,100,139

（4）個別財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

これにより、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」139,600千円は、「固定負債」の「繰延税金負債」262,091千円と相殺して、「固定負債」の「繰延税金負債」122,491千円として表示しており、変更前と比べて総資産が139,600千円減少しております。

（1株当たり情報）

	当事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,233.99円	1,255.46円
1株当たり当期純利益	16.93円	74.20円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益（千円）	109,208	478,738
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	109,208	478,738
期中平均株式数（千株）	6,451	6,451